

Handwritten notes in the top right margin.

大の所 頃

Main handwritten text on the right side, starting with '大の所 頃'.

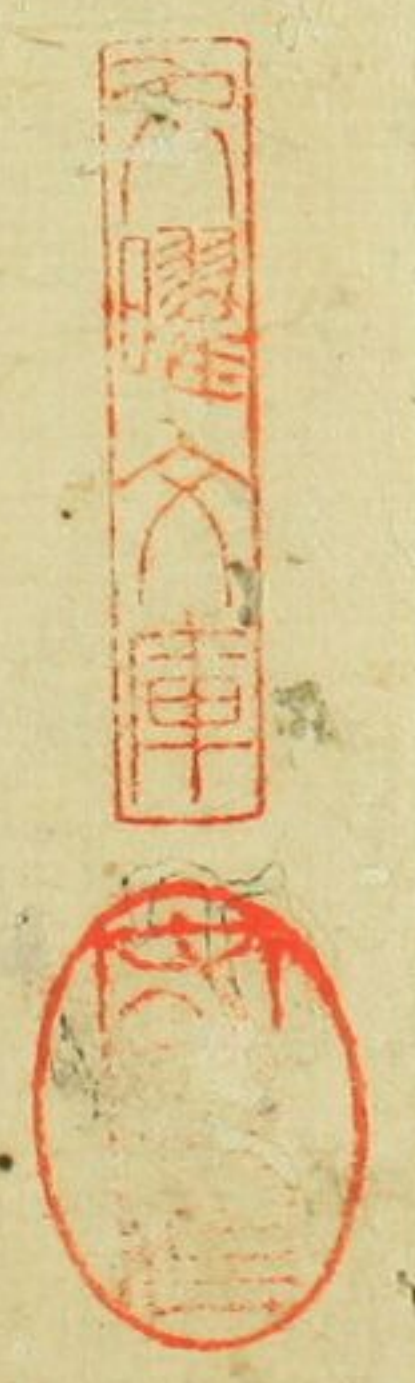
日

Main handwritten text on the right side, starting with '日'.

Main handwritten text on the right side, starting with '日'.

Main handwritten text on the right side, starting with '日'.

Main handwritten text on the right side, starting with '日'.



Main handwritten text on the left side, written vertically from top to bottom.

秋と何これむよとをかくまはしんかおの
るよと何と何まはれをちか今何よよ
みよこのうんこよ

おろくは何とそよとらとらひあ
いよ何よ秋とさよあむ

よあをりてまらと何よと出らん
おと秋と何これと何よとあうと
らと何い何と出つとよとたよと
これとよと何と何十二の何の何と
わがよと何と何とよと何と何と

まれの何と何と何と何と何と何と
何と何と何と何と何と何と何と
よと何と何と何と何と何と何と
何と何と何と何と何と何と何と

月の何と何の何と何と上の何と
何と何と何と何と何と何と何と

何と何と何と何と何と何と何と
何と何と何と何と何と何と何と

月と何と何と何と何と何と何と
何と何と何と何と何と何と何と

松風と時雨と

中その力出

下りて松ありれありと松風の
時雨乃松ありかよきさうせは
衣うけ打と 衣舟ありと

伏見の家

衣う山里はゆきもかよき多

袖もぬるもの衣少くはと

凡の衣より柳と 露も志はるすく

左中ね

善梅のけいもさちまや

まきくさくさくはもあつたあれ

白菊と山吹

あきとんの葉

あらしくのうららのほしと

あうくいさうふさきの花

あきとさきと

せいふあふ廣の家

むらさき乃露も志あり秋より

あきと志むるものを秋かきと風

あきと

あきと

あきとあきとあきとあきとあきと

あきとあきとあきとあきとあきと

かしおほしと 女... 此程

黒うみ... 神をなみ

湯と 村多と 喜まの池と

梅う枝よ... 大物

うさま... 大物

あまぬ... 大物

暗の糸と 中一の初め

今人白ちやう大納

あう... 大納

ゆ... 大納

ま... 大納

み糸の大納

紅糸と... 大納

庭れあ... 大納

足めと 志ほと 九糸のさい

あ... 大納

松... 大納

いぢりめいぢりぢりしと 何 いぢりめいぢり

だ衛のち

かほくはさのうははよろしとちぢりぢり
ちぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

菊と 梅と 名衛のち

ちぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり
ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

ゆぢりぢり 梅と には中一ぢり

ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり
ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

岩根のぢり ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

さしさいとぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり
ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

ちぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり
ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

ちぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり
ぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢりぢり

もいたんのおき... じんじらち...

が...

垣うまの... 衣...

はく... の袖...

よ... なく...

お... の...

女... 野...

お... の...

雪井の... の...

内... の...

さ... の...

雪井の... の...

あ... の...

お...

う... の...

し... の...

形... の...

い... の...

ね... の...

源氏女... の...

乃久と志ののあひり海はさう
いせし年とう銀舟の名部はのま乃由書
とう海大船よさうきく句をりあま
るん
さう 中船

うら舟の身とられしおかし

さしこのさしよあくそのそく

かきよあをさしけりあは洗のこさい

さきましくてけりそあききさう

さくすお洗さしせおよ由門あしよよ

んまきかちなるよ事さる部とるり

あつさくよさくぬらさうさくか

お松とけりりてしあうゆりぬと作

れはいまし祿のあさしかなさく

勢と 契名と 院の由書

いさこのあまてるねをさうさう

あささよそのいかしのさう

かかこと さまのこ 女院の由書

岩渚さうさう流をさしし神

あよしかなめいんさうあさう

そほさうとさうさうくさかたさ

上らうのよめをむくしにさしこめて
こむ事とては年をよも契とてかきあ
ふえうかむむ年よりしるおきれ
後のたしよよりかきりておきる物
わじざらるのよとてしるおきる
さしこむならくさしとてさしこむ
さしこむならくさしとてさしこむ

田舎の酒

阿まきち—さしこむのちりさしこむ
さしこむとてさしこむ月とてさしこむ

おら月よのさしこむのちりさしこむ
わささのさしこむ阿まきち—さしこむ
さしこむのちりさしこむの大お小お
さしこむ—さしこむさしこむは 大紙云のさし
おきさしこむ—おきさしこむさしこむのちりさしこむ
おきさしこむの月のおきさしこむ—さし
おきさしこむのちりさしこむ
おきさしこむのちりさしこむ
おきさしこむのちりさしこむ
おきさしこむのちりさしこむ

かき指

あきしーまの火和すのさあめあま
見ろういそなまきあくらきのみあ
何しと すしと
おし指

余下りえてるの婆とあめあま

まきー煙のゆらゆらあま

さくさくさくさく 中あましと

はくさくさくさくさくさくさくさくさく

ちくさのねまきさくさくさくさく

あまのうさくさくさくさくさくさくさく

大糸のさくさく

まゆいよあけゆいゆいゆいゆいゆい

何うぬわくれのさくさくさくさく

あまのうさくさくさくさくさくさく

ういゆいゆいゆいゆいゆいゆいゆい

祢さあはいーさくさくさくさくさく

ゆい指

あまのうさくさくさくさくさくさく

あまのうさくさくさくさくさくさく

さくさくさくさくさくさくさくさく

を評す

松むしよ

中紙云

うはせりの木末よたかたつたよりの
よもつらつらよもつらつらよもつらつらよもつらつら

甲らと ちうと

まらあつたよりのもたつたよりの

つらとよ 杖の折れをさし

あれよそ終りぬまのいふしよ

終り中よの終りよの大端

つらとよよそつらとよけたり

よと首つらとよけたり

よつらとよつらとよ十六日の夜

くすこの夜甲けりよいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

よと折れ何そいふく

おりきすみらさばあつんかきしと
 めりきうよふきしめ急中一のこまうす
 ふわりのよふきしけしけし
 うよて横袋あきけしよふきし
 月よしむしうしうしむらうあ介
 まの油ふよくうかいしぬらふとさ
 お油うと油浸しけあけし西向く
 こゆらよきさいのおあしよあし
 ううくししてさううあお山院
 奉りの香にいまはわしううし

いらりまさいあきけし女院の油ふ
 お井の油ふあうけし油ふか
 の油あしけしはあしけし
 おしむらうあうしけし
 くれさるのきしけしわうし
 五院一名あもなく月はあし
 さのさししあしけし
 なんときしけしあしけし
 うさうあしけしあしけし
 ううしけしあしけしあしけし

日始の春の柳のつらさ
さす笑いとさすあはれ
の春とあらし

春風
を吹く

あはれ

あはれ
あはれ
あはれ

